

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月5日

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂入 万弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部ゼネラルマネジャー (氏名) 小倉 誠
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 名

TEL 03-5217-5814

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	626	—	16	—	16	—	16	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	433.71	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注)21年3月期第2四半期につきましては、連結として開示したため、22年3月期第2四半期は記載していません。
 (注)22年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため、記載していません。
 (参考)持分法投資損益 22年3月期第2四半期 一百万円 21年3月期第2四半期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	823	567	68.9	15,206.53
21年3月期	856	551	64.4	14,772.81

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 567百万円 21年3月期 551百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	4.2	65	26.7	63	23.1	55	△80.3	1,473.19

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	37,500株	21年3月期	37,500株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	166株	21年3月期	166株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	37,334株	21年3月期第2四半期	37,334株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページをご参照ください。

2. 当期の配当予想は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに行う予定です。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、個人消費の一部に持ち直しの動きがみられたものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の一段の悪化、さらに世界景気の一層の下振れ懸念などから、依然として景気は先行き不透明な厳しい状況で推移いたしました。

当社を取り巻く環境といたしましては、国内における携帯電話の契約数が緩やかな伸びに落ち着くなか、第3世代携帯電話等の高速データ通信が可能な端末の台数は10,462万台(前年同期比11.3%増)と二桁増を維持し、また、携帯電話のインターネット上で流通するモバイルコンテンツについても依然としてマーケットは拡大を続けております。一方、パチンコ業界を取り巻く環境につきましては、遊技人口の減少に加え、遊技機規則改正以降、パチンコ店舗数が減少を続けていることもあり、未だ厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は持続的な成長と更なる企業収益力の基盤強化に向け、きめ細かな経費管理を徹底するとともに、モバイル事業の一層の強化に取り組んでまいりました。

当社オリジナルサイトのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」では、パチンコホールがパチンコ機に経営の主軸を移行する状況を捉え、引き続き人気のパチンコアプリを投入いたしました。また、パチンコ・パチスロの機種情報を拡充するとともに、ユーザー同士が共通の話題で盛り上がるコミュニティスペースを強化するなど、ユーザー本位のサービスを推進いたしました。メーカーオフィシャルサイトでは、パチスロの新機種導入時に携帯アプリをタイムリーに配信した他、人気ゲームアプリやオリジナル商品の投入、著名ライター等による各種イベントの開催など、サービスの拡充に取り組みました。

パチンコ店舗向けサービスでは、全国約4,000店のパチンコ・パチスロ店舗を対象に人材紹介やコンサルティング事業等を行う株式会社パック・エックスと業務・資本提携契約を行い、両社の強みを活かして既存サービスの利便性を高めるとともに、アルバイト情報サイト「パチバイ」をはじめ、新規サイトの企画・制作を行っております。

また、パチンコ・パチスロメーカーの株式会社オリンピアの協力のもと、同社の人気スロットゲームである南国育ちを忠実に再現したニンテンドーDS用ゲームソフト「南国育ちDS」の開発を行いました。当ソフトは本年12月に発売予定であります。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は626,559千円(前年同期比8.7%増)、営業利益は16,489千円(前年同期は営業損失5,047千円)、経常利益は16,328千円(前年同期は経常損失4,809千円)となりました。

また、四半期純利益につきましては特別損益の計上がないことから、経常利益とほぼ同額の16,192千円(前年同期比89.7%減)となりました。

(注) 当第2四半期決算短信において比較、分析に用いた当第2四半期累計期間に対応する前年同四半期累計期間の数値は、独立監査人による四半期レビューを受けていないため、前年同四半期増減率は参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて33,151千円減少し、823,634千円となりました。これは主として流動資産の減少51,366千円、有形固定資産の減少4,442千円、無形固定資産の減少15,442千円と投資その他の資産の増加38,100千円等によるものです。

負債は、前事業年度末に比べて49,343千円減少し、255,914千円となりました。これは流動負債の減少43,149千円と固定負債の減少6,193千円によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて16,192千円増加し、567,720千円となりました。これは四半期純利益16,192千円によるものです。この結果、自己資本比率は前事業年度末の64.4%から68.9%に上昇しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ3,485千円減少し、当第2四半期会計期間末には363,510千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は51,578千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益16,328千円、減価償却費30,448千円、売上債権の減少42,791千円、棚卸資産の減少2,661千円による資金の増加があったものの、仕入債務の減少30,556千円、その他の減少9,044千円により資金が減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は48,663千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,625千円、無形固定資産の取得による支出7,937千円、投資有価証券の取得による支出3,000千円、長期前払費用の取得による支出35,000千円により資金が減少したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6,401千円となりました。これはリース債務の返済による支出により資金が減少したものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、最近の業績状況を踏まえ見直しを行った結果、平成21年5月13日に公表しました平成21年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成21年10月30日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書(平成21年6月24日提出)に記載した内容に加え、新たに以下の項目を想定しております。

新規サイトの展開について

当社は、経営基盤の強化と成長性を確保するため、積極的に新規サイトの展開に取り組んでおります。しかしながら、その遂行過程において事業環境の急激な変化や事後的に顕在化する予測困難な問題等が発生する可能性は否定できません。また、必要な先行投資を行うことで一定期間内に当初予測した収益を上げられなかった場合、当社の業績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、当事業年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	363,510	366,996
売掛金	288,878	331,670
商品及び製品	6,267	8,339
原材料及び貯蔵品	2,569	3,159
その他	20,974	23,407
貸倒引当金	△12	△18
流動資産合計	682,188	733,554
固定資産		
有形固定資産	26,763	31,206
無形固定資産	26,213	41,655
投資その他の資産	88,469	50,369
固定資産合計	141,446	123,231
資産合計	823,634	856,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,820	208,377
未払法人税等	1,429	1,948
その他	31,187	43,262
流動負債合計	210,438	253,588
固定負債		
退職給付引当金	15,160	15,309
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	10,986	17,030
固定負債合計	45,476	51,669
負債合計	255,914	305,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	663,000
資本剰余金	—	648,500
利益剰余金	16,192	△742,616
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	567,720	551,528
純資産合計	567,720	551,528
負債純資産合計	823,634	856,785

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	626,559
売上原価	400,038
売上総利益	226,520
販売費及び一般管理費	210,031
営業利益	16,489
営業外収益	
受取利息	184
その他	168
営業外収益合計	352
営業外費用	
支払利息	513
営業外費用合計	513
経常利益	16,328
税引前四半期純利益	16,328
法人税、住民税及び事業税	135
法人税等合計	135
四半期純利益	16,192

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	16,328
減価償却費	30,448
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△149
受取利息及び受取配当金	△184
支払利息	513
売上債権の増減額 (△は増加)	42,791
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,661
仕入債務の増減額 (△は減少)	△30,556
その他	△9,044
小計	52,808
利息及び配当金の受取額	184
利息の支払額	△513
法人税等の支払額	△900
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,625
無形固定資産の取得による支出	△7,937
投資有価証券の取得による支出	△3,000
出資金の払込による支出	△100
長期前払費用の取得による支出	△35,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△6,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,401
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,485
現金及び現金同等物の期首残高	366,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	363,510

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月24日開催の定時株主総会決議により、欠損補填を目的に資本金の額663,000千円のうち94,116千円と資本準備金の額648,500千円の全額を減少させ、その他資本剰余金に振替えるとともに、利益準備金の額892千円の全額を減少させ繰越利益剰余金に振替えました。そして、振替え後のその他資本剰余金の額742,616千円の全額を繰越利益剰余金に振替えております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 第2四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		576,285	100.0
II 売上原価		345,417	59.9
売上総利益		230,867	40.1
III 販売費及び一般管理費		236,335	41.0
営業損失(△)		△ 5,467	△0.9
IV 営業外収益			
1. 受取利息	842		
2. その他	516	1,359	0.2
V 営業外費用			
1. 支払利息	811		
2. 為替差損	11,629		
3. その他	1,580	14,021	2.4
経常損失(△)		△ 18,129	△3.1
VI 特別利益			
1. ライセンス契約解約益	95,883		
2. 事業譲渡益	25,000	120,883	21.0
VII 特別損失			
1. 投資有価証券評価損	5,659	5,659	1.0
税金等調整前四半期純利益		97,094	16.8
法人税、住民税及び事業税		656	0.1
四半期純利益		96,437	16.7

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	97,094
減価償却費	31,786
為替差損益 (△は益)	11,629
ライセンス契約解約益	△ 95,883
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,659
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 997
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△ 79,155
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,877
受取利息及び受取配当金	△ 842
支払利息	811
売上債権の増減額 (△は増加)	23,346
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,310
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,227
その他	△2,896
小計	10,212
利息及び配当金の受取額	842
利息の支払額	△ 811
法人税等の支払額	△ 348
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,895
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△ 11,139
投資有価証券の取得による支出	△ 50
敷金及び保証金の回収による収入	55,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,348
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△7,245
社債の償還による支出	△500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,245
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 453,006
VI 現金及び現金同等物の期首残高	767,433
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	314,426

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第2四半期会計期間の実績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期会計期間に対応する前年同四半期会計期間の数値は、独立監査法人による四半期レビューを受けていないため、参考として記載しております。

前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
280,508千円	301,707千円

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第2四半期会計期間の主要な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	150,934	53.8	164,148	54.4
KDDI株式会社	68,389	24.3	77,137	25.6
ソフトバンクモバイル株式会社	42,497	15.1	43,310	14.4